

平成27年8月25日

調査・設計等分野における品質確保に関する懇談会  
(平成27年度 第1回)

資料2-1

# 業務内容に応じた適切な発注方式の選定 (平成26年度試行1)に関する報告

---

**試行1 業務内容に応じた適切な発注方式の選定(課題認識)**

**試行1 業務内容に応じた適切な発注方式の選定(概要)**

**試行1の実施状況**

**試行1の実施結果**

- ①発注方選定表への適合状況**
- ②発注方式別の構成比**
- ③発注方式別の業務成績評定点**
- ④受発注者アンケート結果**

**選定表の見直し**

**試行1の評価と今後の方向性**

# 試行1. 業務内容に応じた適切な発注方式の選定(課題認識)

## 試行の背景

河川事業		発注件数(H25年度契約)					推奨発注方式 適合率	
推奨発注方式	業務細目	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計		
プロポ	環境調査・分析(高度)	121	45	24	0	190	64%	
総合評価	施設健全度調査	36	40	14	0	90	44%	
総合評価	堤防・護岸設計	54	277	106	5	442	63%	
総合評価	河川構造物 詳細設計 (樋門・樋管・排水機場等)	37	184	47	1	269	68%	
総合評価	価格	耐震調査	27	43	9	0	79	66%
価格		施設点検調査	20	48	38	2	108	35%



- ① 総合評価落札方式等を標準とする業務の中にプロポーザル方式により発注すべき業務があるのではないか。
- ② プロポーザル方式で実施すべき業務が他方式で実施されていることにより、成果品質の低下を招く恐れはないか。



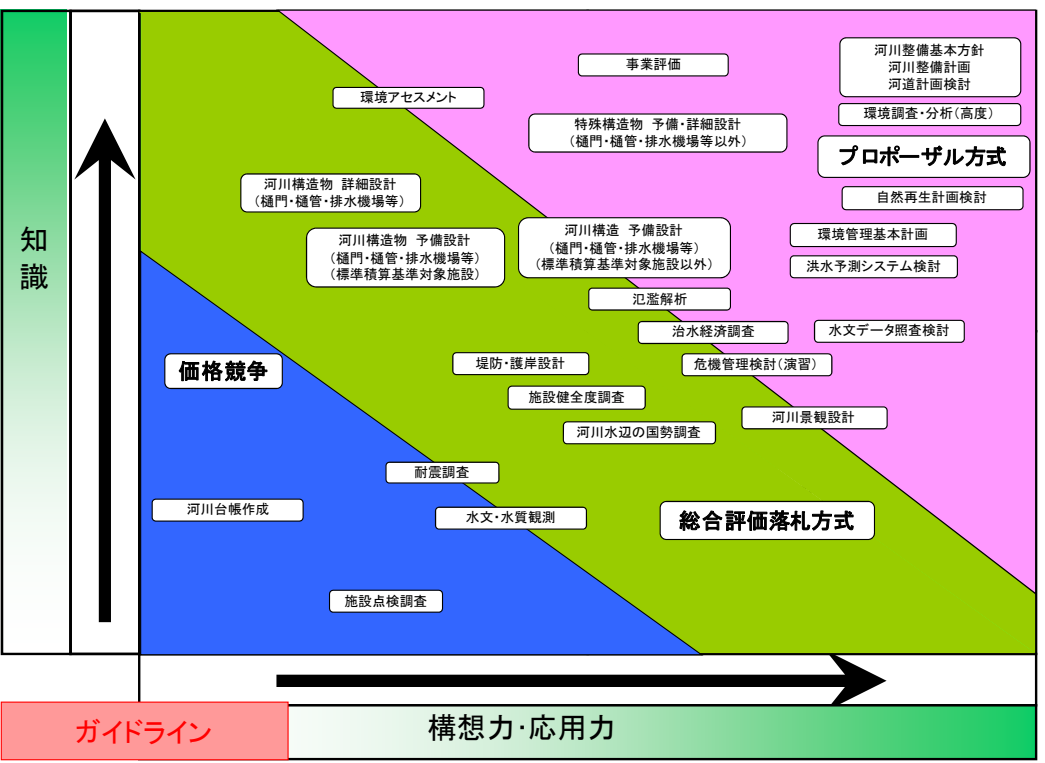
方向性①  
 プロポーザルなど、それぞれの方式で実施すべき業務の内容、選定の考え方を明確化

方向性②  
 適切に発注方式が選定できる選定表の作成

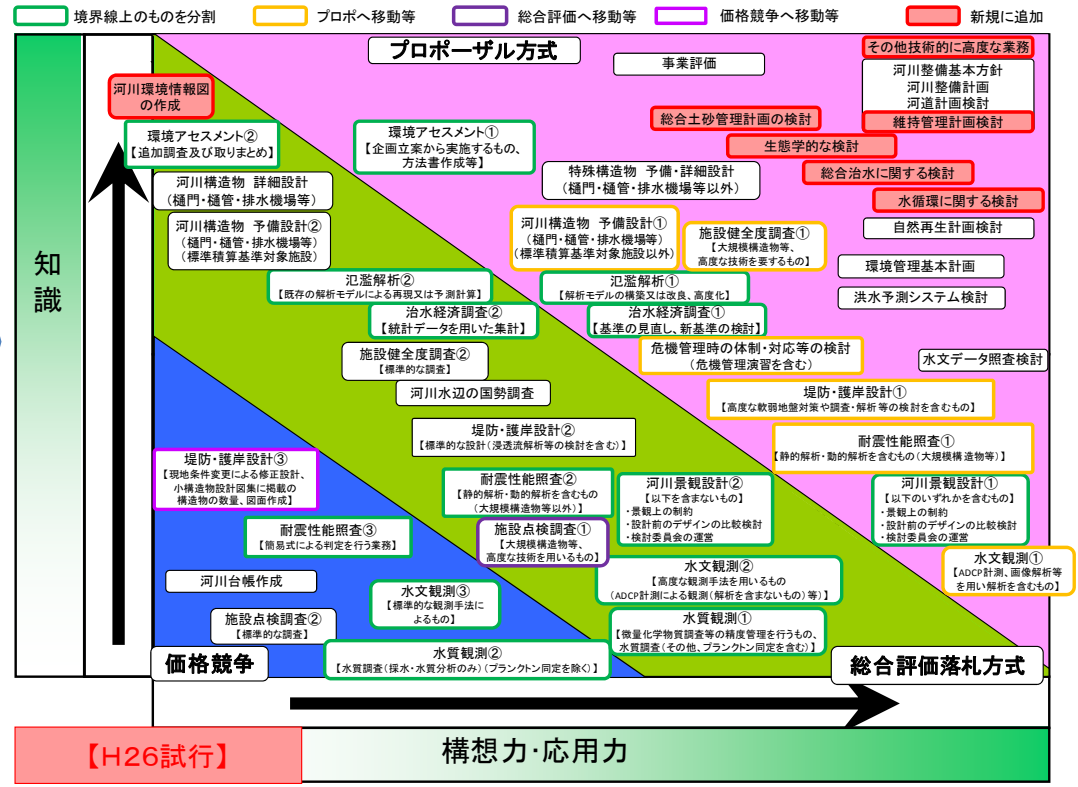
# 試行1. 業務内容に応じた適切な発注方式の選定(概要)

## 【河川事業】発注方式選定表

### 現行ガイドライン



### 試行選定表

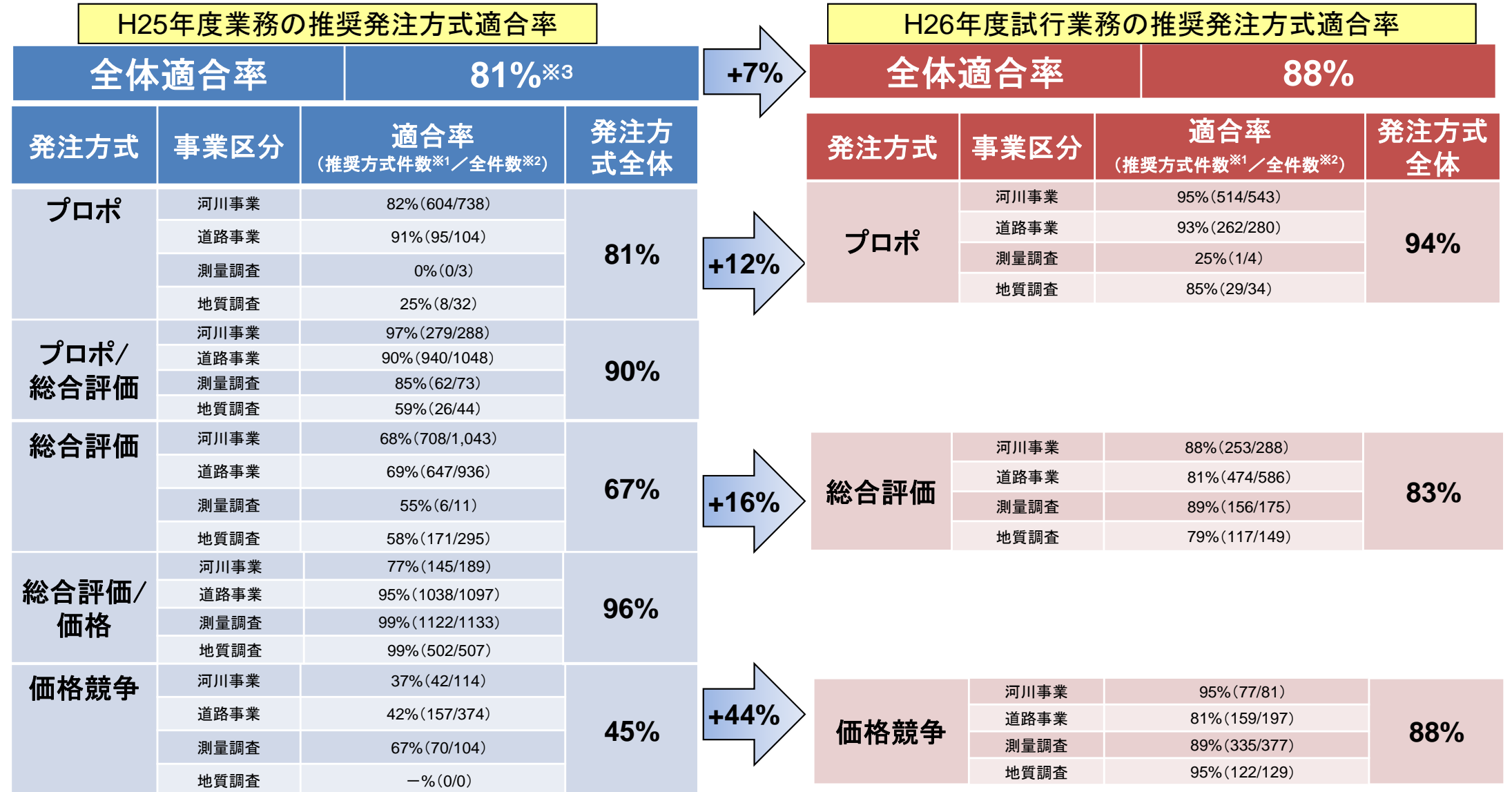


- 業務内容と推奨される発注方式の対応を明確化
- 境界線上の工種を上位方式に移動、または複数の方式に分割
  - 位置付けを見直し、方式を移動
  - 位置付けのない工種を新設

新たな発注方式選定表により適正化

# ①発注方式選定表への適合状況(発注方式別)

・発注方式選定表を見直した結果、全体適合率が向上(81%→88%)。  
 ・特にプロポーザル方式を推奨している業務で、81%→94%と適合率の向上が大きい。



※1 推奨方式件数: 選定表で示された推奨方式通りに発注された業務数      ※2 全件数: 選定表で示された推奨方式で発注されるべき業務全数  
 ※3 前回懇談会では、複数の発注方式にまたがる「業務内容」を集計から除外したため、「全体適合率」の数値が異なっている。

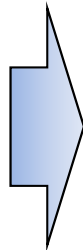
# ①発注方式選定表への適合状況(事業別)

## 【河川事業】発注方式別の適合率

H25年度に比べ、H26年度試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	604	93	41	0	738	82%
プロポ/総合評価 境界上	231	48	8	1	288	97%
総合評価	144	708	185	6	1,043	68%
総合評価/価格競争 境界上	44	117	28	0	189	77%
価格競争	21	49	42	2	114	37%
合計	1,044	1,015	304	9	2,372	75%



H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

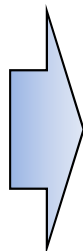
選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	514	13	5	11	543	95%
総合評価	6	253	29	0	288	88%
価格競争	0	4	77	0	81	95%
合計	520	270	111	11	912	93%

## 【道路事業】発注方式別の適合率

H25年度に比べ、H26年度試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	95	7	2	0	104	91%
プロポ/総合評価 境界上	613	327	107	1	1,048	90%
総合評価	69	647	217	3	936	69%
総合評価/価格競争 境界上	48	647	391	11	1,097	95%
価格競争	84	131	157	2	374	42%
合計	909	1,759	874	17	3,559	81%



H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	262	13	5	0	280	94%
総合評価	22	474	86	4	586	81%
価格競争	2	36	159	0	197	81%
合計	286	523	250	4	1,063	84%

# ①発注方式選定表への適合状況(事業別)

## 【測量調査】発注方式別の適合率

H25年度に比べ、H26年度試行1業務では各発注方式において適合率が上昇しているが、業務件数の多い価格競争での上昇が67%⇒80%と現段階では小さいため、全体適合率は下降している。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	0	1	2	0	3	0%
プロポ/総合評価 境界上	4	58	10	1	73	85%
総合評価	0	6	4	1	11	55%
総合評価/価格競争 境界上	2	442	680	9	1,133	99%
価格競争	0	34	70	0	104	67%
合計	6	541	766	11	1,324	95%

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	1	1	0	2	4	25%
総合評価	0	95	19	0	114	83%
価格競争(条件により総合評価)	0	61	172	0	233	100%
価格競争	0	42	163	0	205	80%
合計	1	199	354	2	556	88%

## 【地質調査】発注方式別の適合率

H25年度に比べ、H26年度試行1業務では各発注方式において適合率が上昇している。特にプロポは25%⇒85%、総合評価は58%⇒79%と大きい。

H25年度業務の推奨発注方式適合率

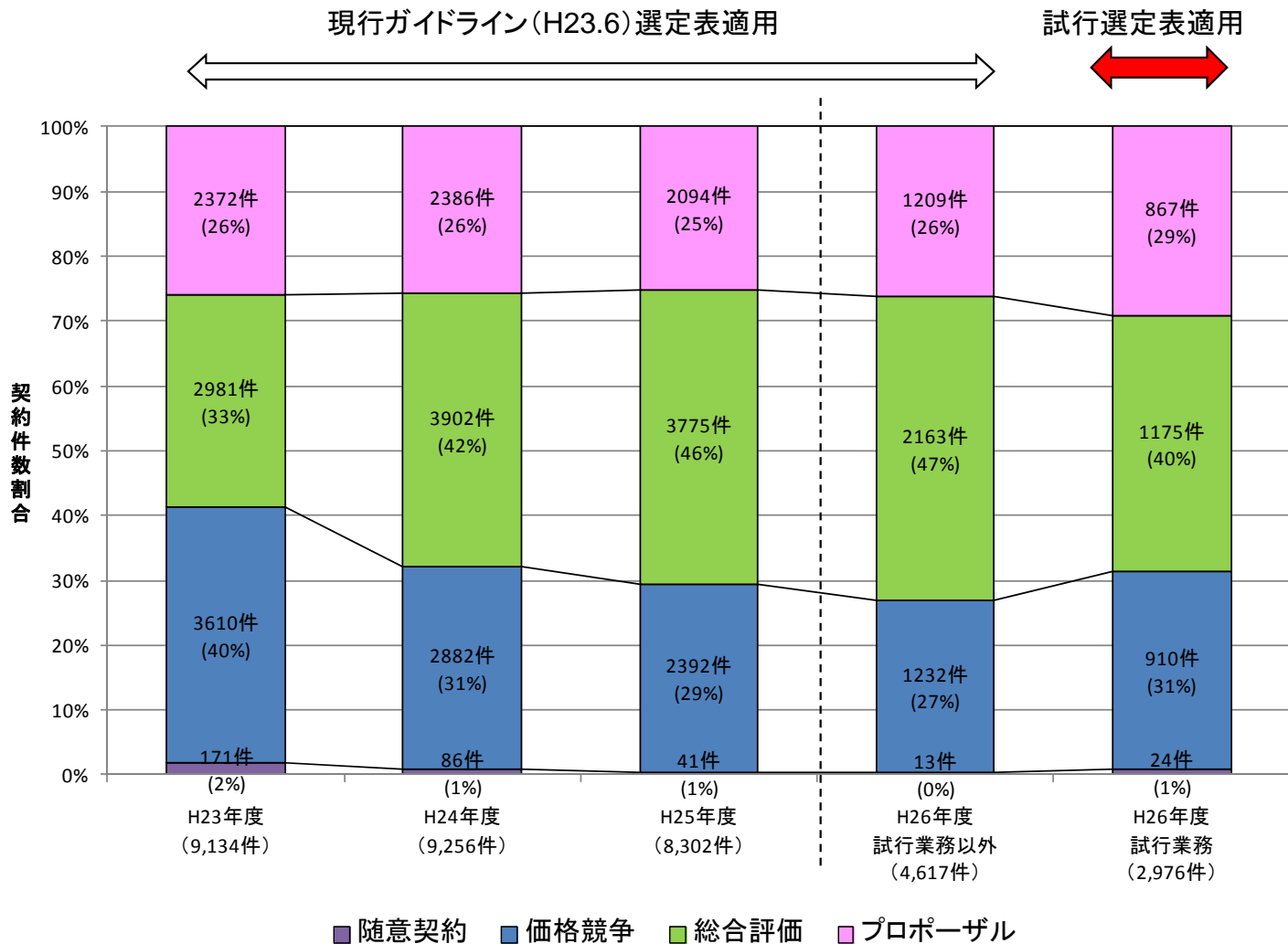
選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	8	14	10	0	32	25%
プロポ/総合評価 境界上	11	15	17	1	44	59%
総合評価	7	171	116	1	295	58%
総合評価/価格競争 境界上	3	204	298	2	507	99%
価格競争	0	0	0	0	0	0%
合計	29	404	441	4	878	81%

H26年度試行1業務における推奨発注方式適合率

選定された発注方式 推奨発注方式	プロポ	総合評価	価格競争	特命随契	計	推奨発注方式 適合率
プロポ	29	3	2	0	34	85%
総合評価	1	117	29	2	149	79%
価格競争	0	5	122	2	129	95%
合計	30	125	153	4	312	86%

## ②発注方式別の構成比

- ・プロポーザル方式で25%から29%に増加した。
- ・一方で、価格競争方式も増加し、総合評価方式は46%から40%に低下した。



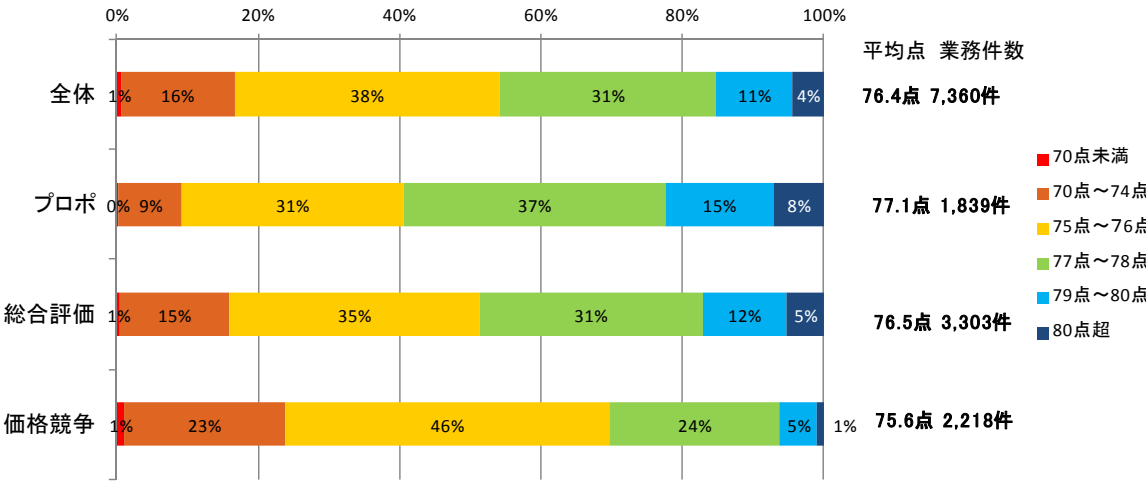
- 集計対象: 河川事業、道路事業、測量調査、地質調査
- 試行業務: H26.6.16以降に公示された河川事業、道路事業、測量調査、地質調査で契約済みの業務



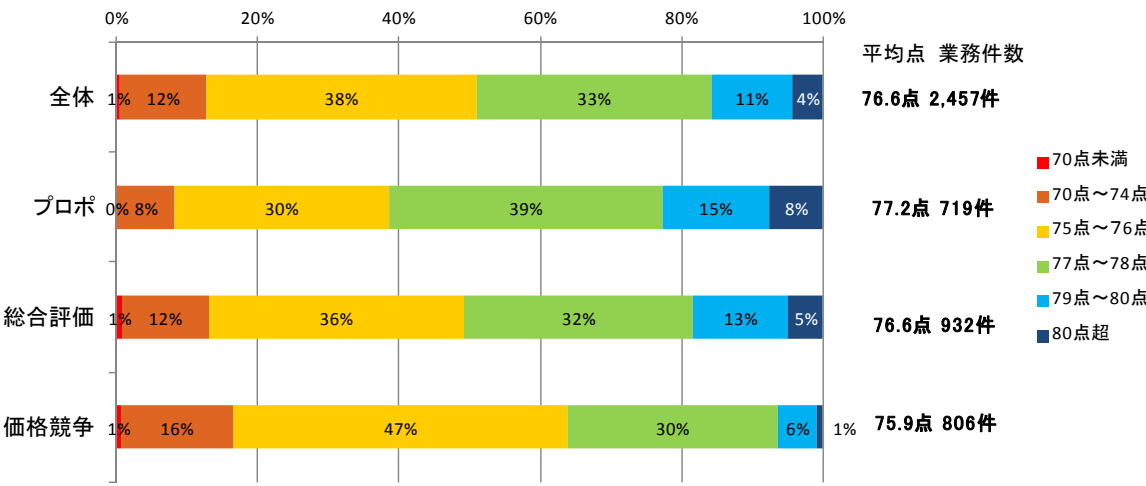
# ③発注方式別の業務成績評定点

・全ての発注方式で業務成績評定点に大きな影響はみられない。

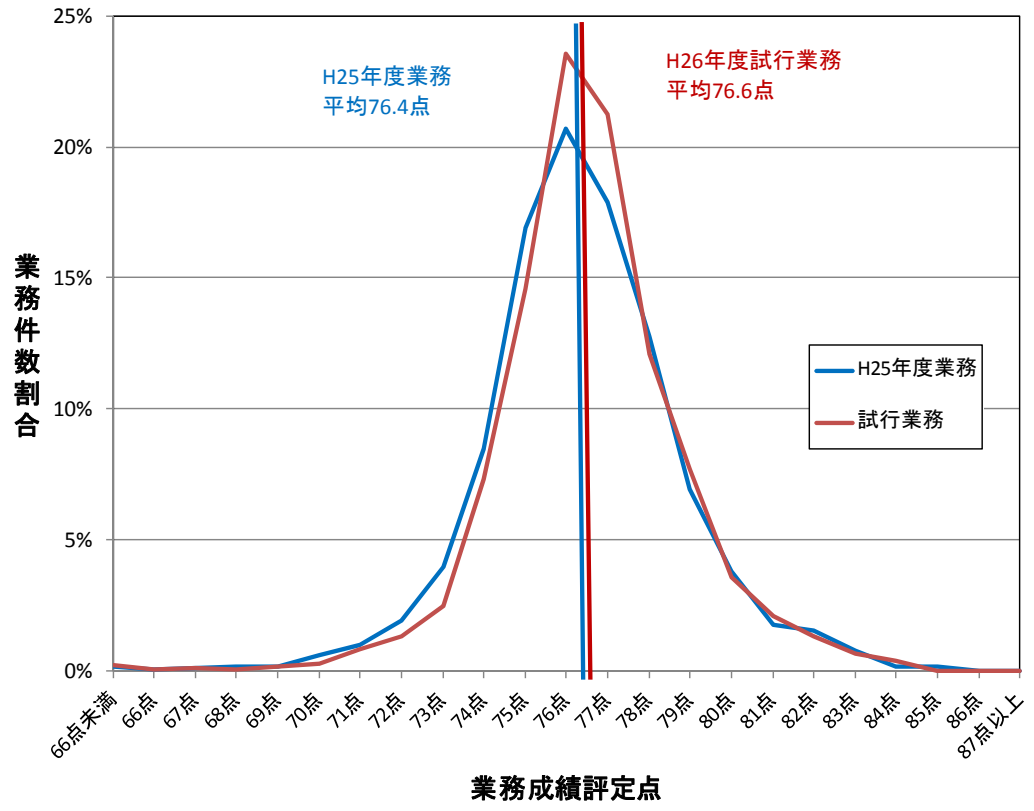
H25年度業務の成績分布



H26年度試行業務の成績分布



業務成績評定点分布の比較  
(H25年度業務、H26年度試行業務)



## ④受発注者アンケート調査について

### 1. 調査の対象・回答数

#### ①調査の対象

- ・発注者: 地方整備局等の全ての発注機関(本局、事務所)
- ・受注者: 業界3団体(建コン協、全測連、全地連)所属会社

#### ②回答数

- ・発注者: 200者、受注者: 363者

### 2. 調査の時期

- ・平成26年11月下旬～12月中旬

### 3. 調査の主な内容

#### 対発注者

- ①試行選定表に基づく発注方式選定に関する所見
- ②発注方式に見合った業務構成の検討について
- ③試行1に対する評価について

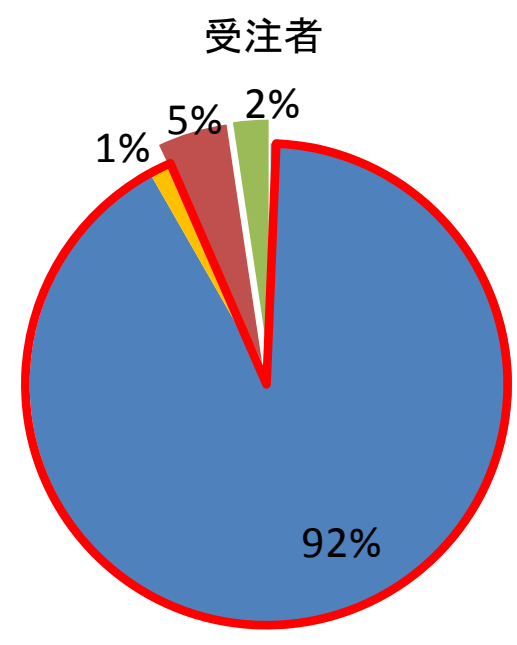
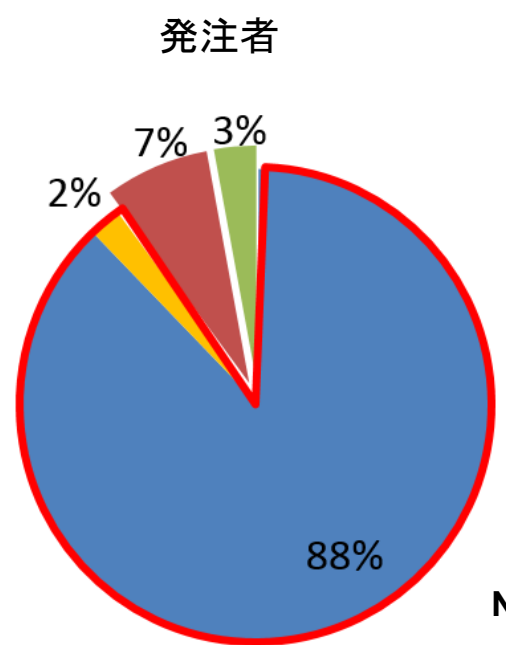
#### 対受注者

- ①業務内容と発注方式の適合性に関する所見
- ②試行1に対する評価について

# ④受発注者アンケート調査結果(1)

■業務内容に応じた適切な発注方式となっていましたか？ [1業務毎に回答]

発注者、受注者双方ともに、大部分の業務で「業務内容と発注方式は適していた」と認識。



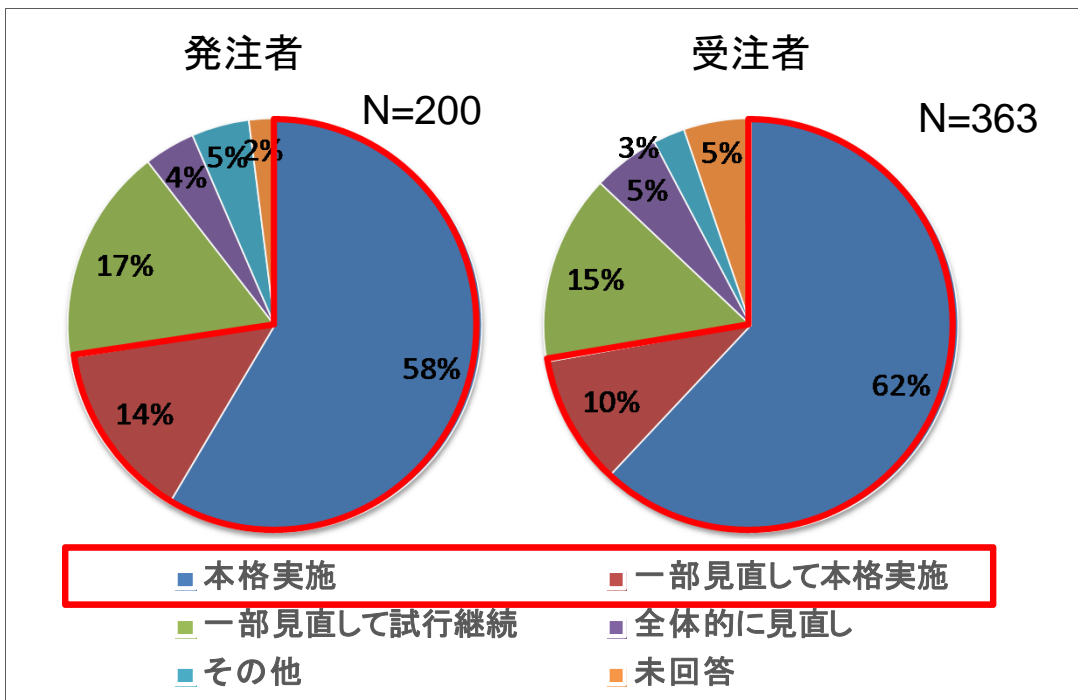
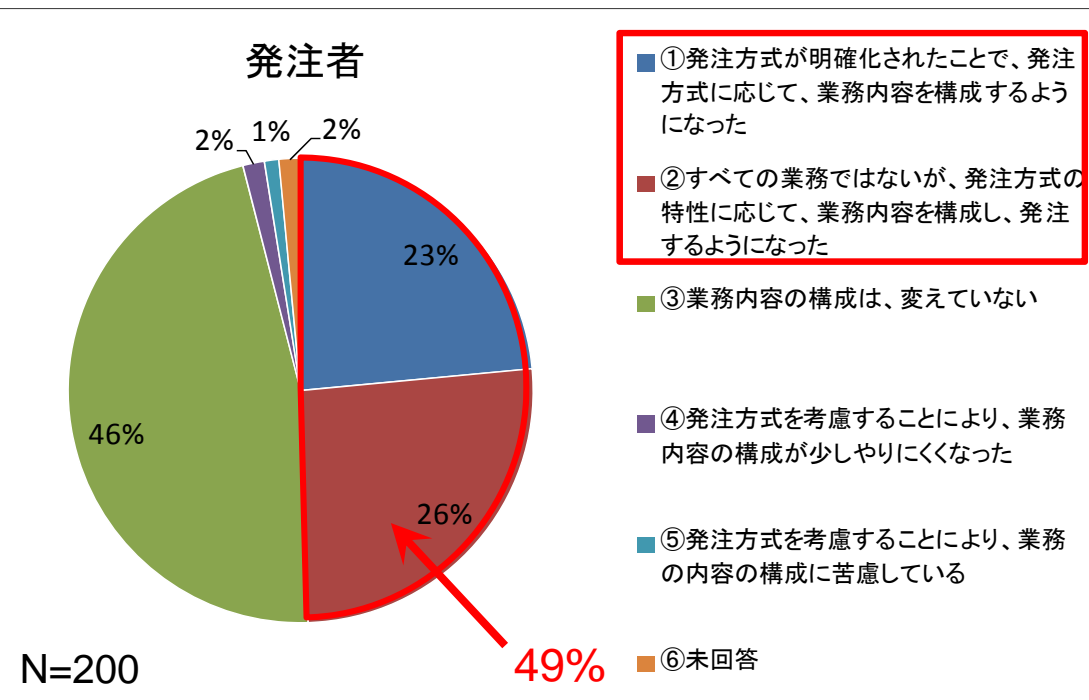
凡例: ■ ①業務内容に適した発注方式  
■ ③業務内容に適していない発注方式

■ ②業務内容に概ね適した発注方式  
■ ④どちらとも言えない

# ④受発注者アンケート調査結果(2)

■ (発注者) 発注方式に見合った内容となるよう業務の構成を検討したか  
 ⇒ 業務内容の構成を適切に見直した、との回答が約5割。

■ (受発注者) 本試行の取り組みを今後どのようにしていくべきか  
 ⇒ 一部見直しを含め本格実施すべきとの回答が約7割。



## ④受発注者アンケート調査結果(3)

### 改善意見の主な内容及び対応

難易度が高く、より専門的な知識が必要な業務は上位方式を選定することが適切な場合がある。

選定表を細分化した方がよい。

方式の区分の基準を明確に示して欲しい。

該当する項目がない場合がある。

現地測量(地形測量)の現地等の条件が通常の仕様で実施できない場合は、総合評価方式が望ましい。

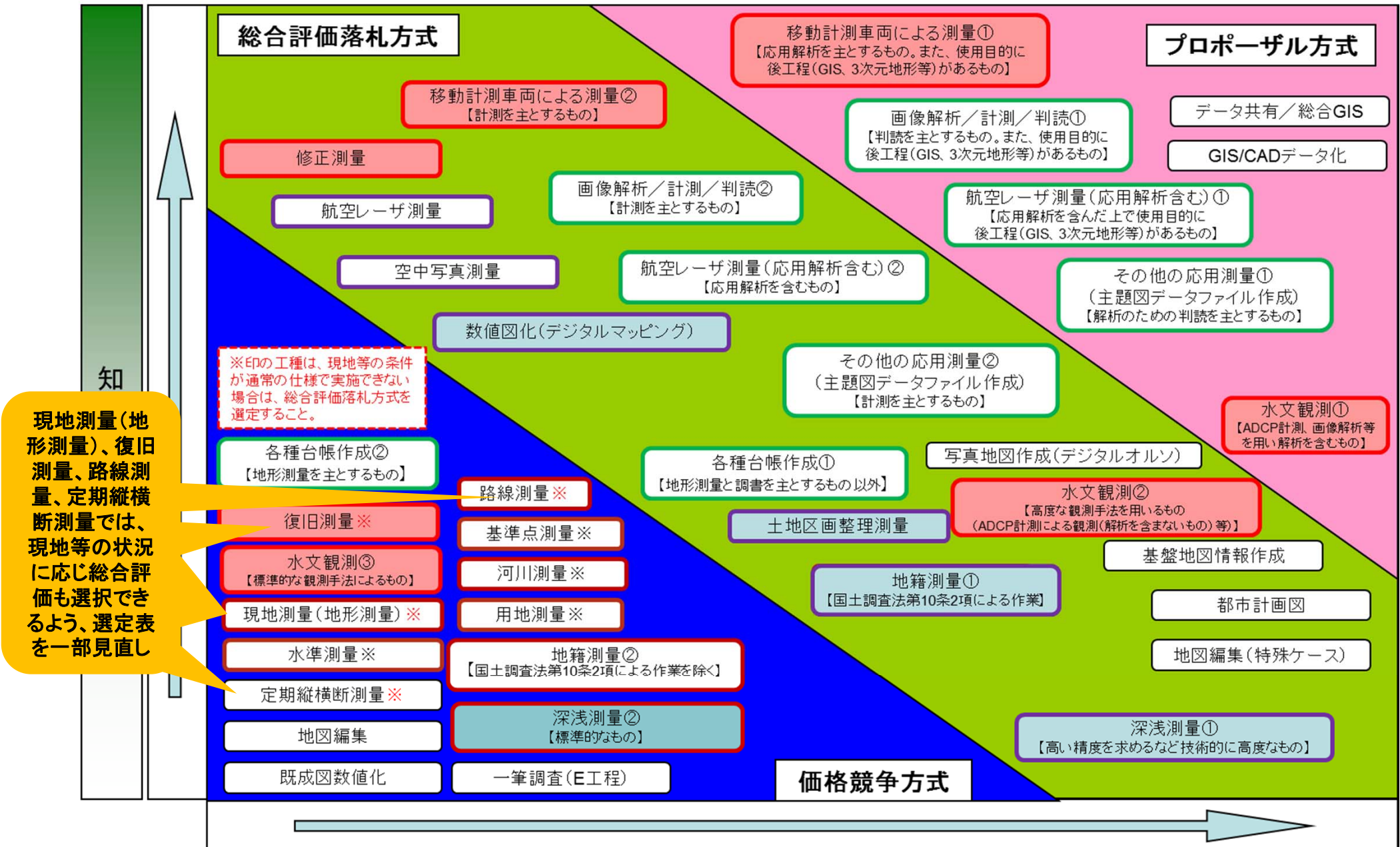
工種毎に標準的な難易度に基づき、区分しており、ガイドラインは目安である。難易度に応じて適切に方式を選定する。

標準的な工種を記載しており、類似の工種を参考に選定する。

現地測量(地形測量)等で「現地等の条件が通常の仕様で実施できない場合は、総合評価方式を選定する」**規定を追加**する。

# 選定表の見直し

【測量調査】 境界線上のものを分割 プロポへ移動等 総合評価へ移動等 価格へ移動等



現地測量(地形測量)、復旧測量、路線測量、定期縦横断測量では、現地等の状況に応じ総合評価も選択できるよう、選定表を一部見直し

※印の工種は、現地等の条件が通常の仕様で実施できない場合は、総合評価落札方式を選定すること。

【H26試行】

構想力・応用力

# 試行1の評価と今後の方向性

## 【試行1評価まとめ】

- 新たな発注方式選定表により発注方式の適合率が向上。
- 業務成績へ大きな影響は見受けられない。
- アンケート調査結果より、発注者、受注者ともに一部見直しを含め本格実施すべきとの意見が多数。



試行選定表（一部修正）をガイドラインへ反映したい。（今年度秋めど）

## 【今後の対応(案)】

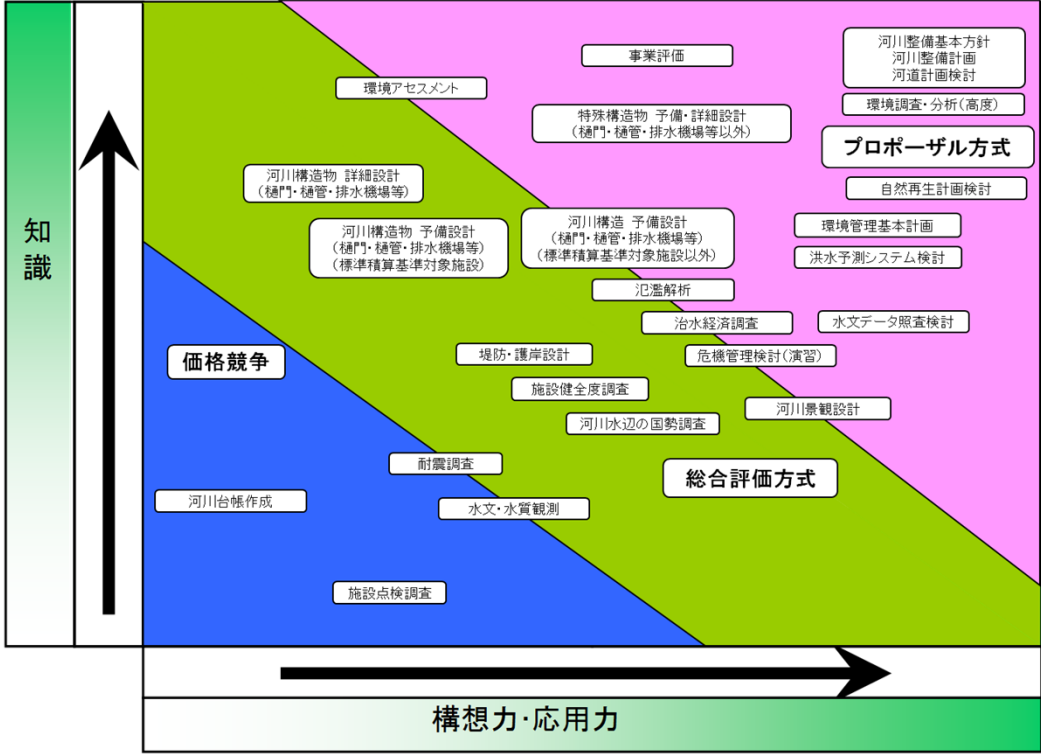
- ・発注方式選定表に基づき発注方式の選択が適切に行われているかなどの観点で、定期的  
に実施状況をモニタリングする予定。
- ・必要に応じ、発注方式選定表を見直し。



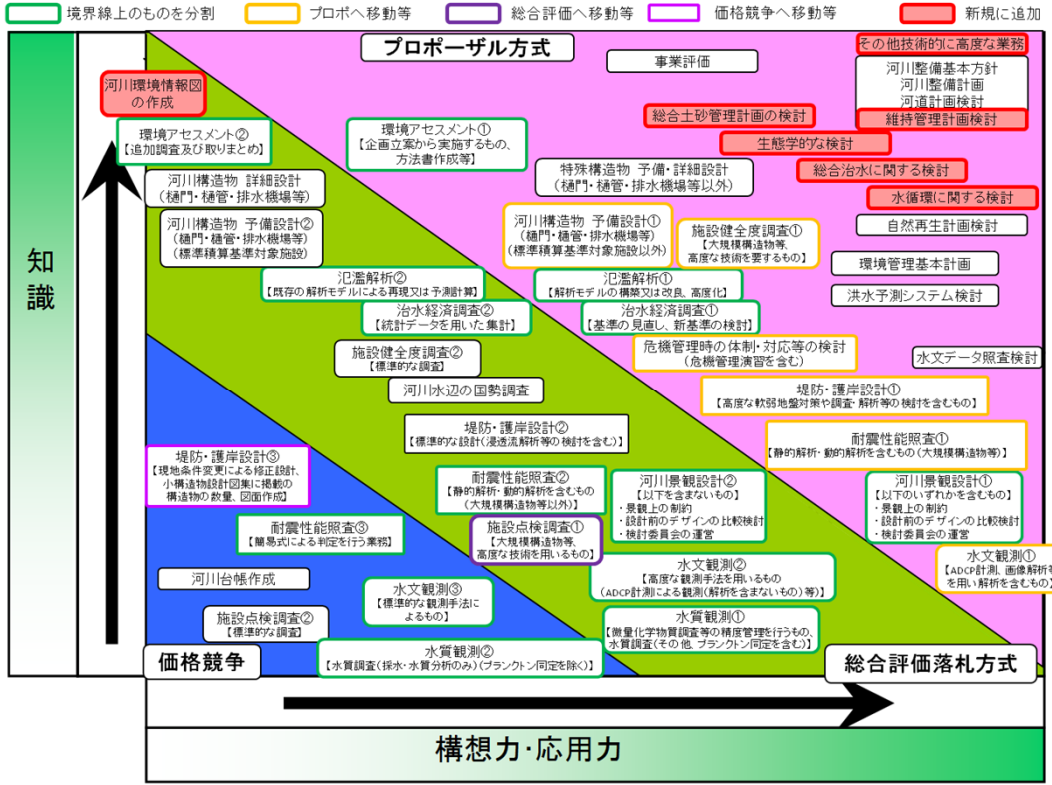
# 選定表の改訂案(1)

## 【河川事業】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」



新ガイドラインの「発注方式選定表」





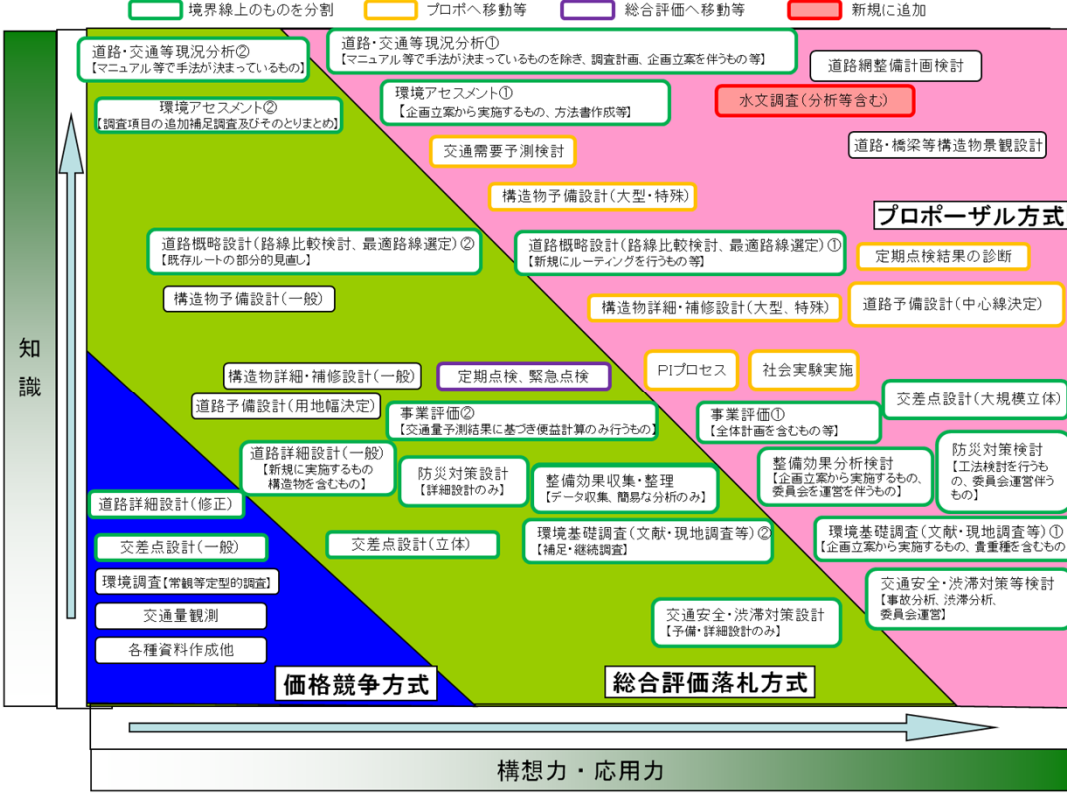
# 選定表の改訂案(2)

## 【道路事業】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」



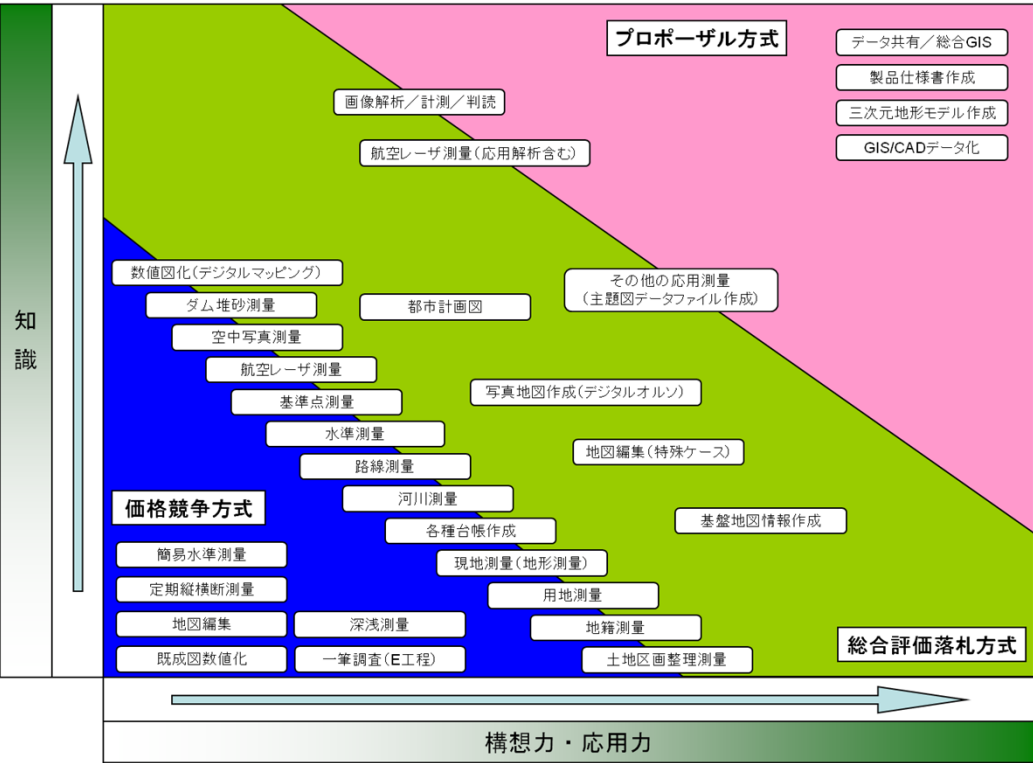
新ガイドラインの「発注方式選定表」



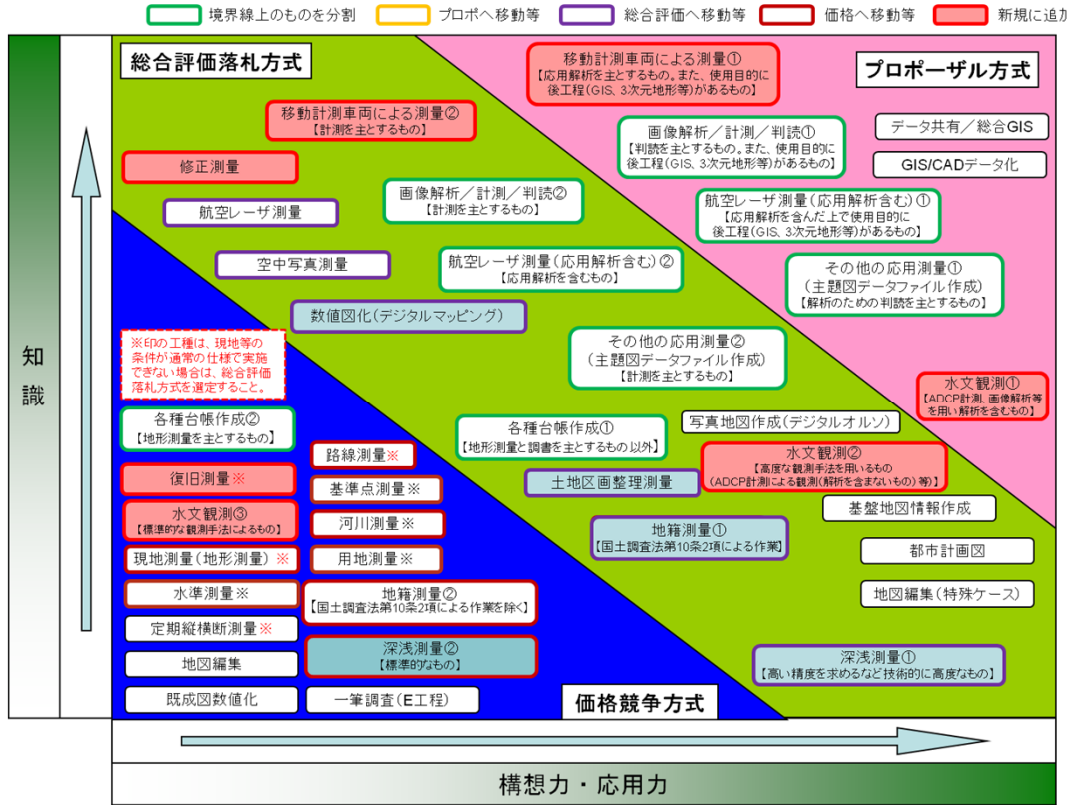
# 選定表の改訂案(3)

## 【測量調査】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」



新ガイドラインの「発注方式選定表」



# 選定表の改訂案(4)

## 【地質調査】発注方式選定表

現行ガイドラインの「発注方式選定表」

新ガイドラインの「発注方式選定表」

